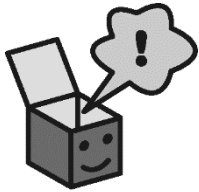


A1階

(中学生から一般 ※立体視を行いますので 13 歳未満の方はご体験いただけません)

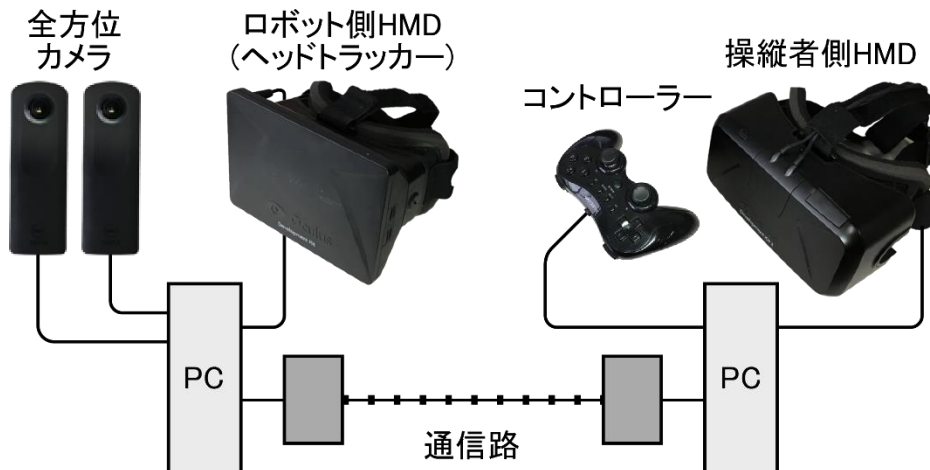


バーチャルリアリティ

システム工学部メディアデザインメジャー・視覚メディア研究室

システム工学部 A 棟 1F のエントランス・10~16 時

- HMD (Head Mounted Display) を使って離れたところの環境を自分の周りに再現します



- この研究の目的

2009年に我が国の月探査機 SELENE (かぐや) の観測データから、月面上に縦孔 (穴) が発見されました。これにより、この縦孔を利用した科学研究や縦孔自体の基地利用の可能性が見込まれ、現在 JAXA を中心に月惑星の縦孔・地下空洞探査 (UZUME) が計画されています。この計画では、まず人間の作業者の代わりにロボット (テレイグジスタンスロボット) を派遣し、地球上からそれを操作して現地の調査を行うことが考えられています。このロボットのことを遠隔操作型代理科学者と呼んでいます。今回の展示は、このテレイグジスタンスロボットの視覚を地球上の作業者と共有することを目的として開発中のものです。

